

まちかど

アルバム



地域で学ぶ職場体験活動

市内事業所

5月9日（月）、市内の中学校2年生が、地域の事業所や施設などで体験活動を行う「ワクワクとっとり」がスタートしました。

写真は鳥取消防署での放水訓練が行われた様子で、思ったよりも重たいホースの扱いに生徒たちは大苦戦。額に汗を滲ませながら一生懸命訓練に取り組んでいました。

この取り組みは7月8日（金）まで、市内の事業所などで実施されますので、見かけられた時は是非応援してください。

春の大茶会

河原城

5月3日（火）、4日（水）に河原城お城山展望台で、恒例の春の大茶会が開催されました。この茶会は阪神・淡路大震災への支援がきっかけとなって始まったもので、16回目となる今年は、東日本大震災の被災者のみなさんへ義援金として収益金が送られます。

訪れた人の中には苦い！と少し驚きながらも、残さずいただいた子どもや、この一服がわずかでも何かの支援に繋がれば、という思いでいただいたという人もおられました。



2,000年前の宝物に挑戦！

青谷上寺地遺跡展示館

5月1日（日）、国指定史跡「青谷上寺地遺跡」からの出土品を展示している青谷上寺地遺跡展示館で、「ゴールドンウィークイベント ^{まが} 勾玉づくり」が行われました。

参加した児童・生徒は、約1時間かけて石を削り、最後に思い思いの色に染めて、自分だけの宝物を完成。

できあがった勾玉の首飾りを身につけ、とても満足そうな表情でした。

春の祭礼で奉納の舞

用瀬町用瀬

5月3日（火）、用瀬町の東井神社で春の祭礼が行われ、4人の巫女による「浦安の舞」が奉納されました。

巫女の衣装をまとい花冠をつけた舞姫役を担うのは、地元の小学6年生の女の子たちで、代々受け継がれています。厳かに笛や太鼓が奏でられる中、扇舞と鈴舞を舞いました。

訪れた地元のみなさんは、つつがなく取り行われる神事を見守りながら日々の平穏を祈願していました。





おいしい抹茶を気軽に味わう

仁風閣 宝扇庵

5月8日（日）、新緑に包まれた久松山のふもと、仁風閣の裏庭の一角に「ガーデン和カフェ 仁風」がオープンしました。これは、仁風閣の茶室「宝扇庵」が企画したもので、11月までの毎月第3日曜日の11時から16時まで行われています。

穏やかな陽気の中、県内外から訪れた人々を、和服に身を包んだ職員がお出迎え。爽やかな風に包まれながら、みなさんがおいしい茶菓子と抹茶、そして久松山の景観を堪能していきました。

鯉のぼりの下の楽しい運動会

福部保育園

5月2日（月）、福部保育園で毎年恒例の「こどもの日のつどい」が行われました。子どもたちのすこやかな成長を願い、大きな真鯉や86人の園児が手作りした鯉のぼりが園庭に掲げられ、楽しい運動会の始まり。地域の人々や先生が見守る中、玉入れや鯉のぼりをくぐる障害物競争などが行われました。大好きなかっこでは、子どもたちは青々と茂った芝生の園庭をゴールに向かって大喜びで走っていきました。



古式ゆかしく巖かに

気高町八束水

4月24日（日）、鳥取市気高町八束水の姫路神社で「百手の神事」が巖かに行われました。

奈良時代の終わり頃から始まったと伝えられるこの神事は、神官が1年12カ月を意味する12本の矢を射て、五穀豊穡の吉凶を占います。

今年の占いの結果は“まずまず”。この日は天候に恵まれ、大勢の見物客やカメラマンが集まり、鳥取県指定無形民俗文化財であるこの伝統行事を熱心にカメラに収めていました。

鹿野そば 早喰い選手権

鹿野そば道場

4月24日（日）、鹿野そば道場駐車場を会場に、名物「鹿野そば」の早喰い選手権が開催されました。

これは、鹿野町の特産物や春の旬の食材や地元の「ええもん」を集めた鹿野ええもん市で行われた企画で、参加者は同僚や仲間からの声援に応えようと、一生懸命3人前のざるそばをすすっていました。



私は必ず止まります

佐治町ひまわり保育園

4月15日（金）、鳥取市立ひまわり保育園で、園児たちへの交通安全指導が行われました。

園児は、「わたしはかならず止まります。右を見て左を見てもう一度右を見て、手を上げてわたります」と声を出しながら実践。通行中の車も、手をあげる園児の姿に気づき停車してくれました。

昨今多発する交通事故を考えると、園児の横断歩道を渡る姿がとても大切に感じられました。